

## 令和5年度 第1回京都府戦略的地震防災対策推進部会の開催結果について

### 1 開催日時

令和5年4月20日（木）10時から11時30分

### 2 場所

京都府福利厚生センター3階 第1会議室

### 3 出席委員

牧部会長、明致委員、窪田委員、越山委員、松島委員

※窪田委員はZoomにてWEB出席

### 4 議事の概要

#### (1) 第三次京都府戦略的地震防災対策指針及び推進プランの改定について

##### ① 事務局説明

- ・別添資料1及び資料1-1のとおり
- ・別添資料1-2及び資料1-3のとおり

##### ② 質疑応答

委員：「公立学校のブロック塀対策を進める」を削除することだが、対策が済んだということか。

→(事務局)：計画当初に対象としていた「道路又は不特定多数に危険が及ぶブロック塀」の改修が終了した。

#### (2) 第三次京都府戦略的地震防災対策指針の評価及び推進プランの進捗状況等について

##### ① 事務局説明

- ・資料2から資料3-4のとおり

##### ② 質疑応答

委員：公立学校のブロック塀対策は完了とのことだが、民間や私立学校、大学、寺社仏閣のブロック塀への対策はどうか。

→(事務局) 民間や私立学校が所有するブロック塀については、HP等により施設管理者に改修の啓発を行っている。

委員：防災目的のみでなく、緑化を進めるという意味で、ブロック塀を生垣又は間伐材を使用した木造や間伐竹を使用した竹造に転換してはどうか。

→(事務局) 次の指針・プランを改定する段階で検討したい。

委員：アウトカム評価で「C」評価になった場合に、関係部局への周知や対策はどのように取られているのか。また、ダッシュボードについては、どのように周知してるのか。

→(事務局) 例えば、**資料2**の「2 地震等に強い京都の人づくりを進める」が「C」評価となっているが、令和5年度の新規事業で 防災士育成事業費を予算計上しており、本事業を通じて地域防災力の向上と災害に強い地域づくりを進めていく。ダッシュボードについては、HP で公表している。

委員：「C」や「D」評価の場合は、関係部局に進捗を確認しているのか。

→(事務局) 本部会の意見等も各部局に伝えるとともに、「△」の理由も確認をし、進捗が進むように関係部と調整を進めていきたい。

委員：「◎」になったものは、推進プランから外してもいいのでは。

→(事務局) 「◎」「○」の基準だが、啓発等の継続事業は、3年程度継続して実施した場合「◎」になる。協定の締結や訓練については、1回の実施で「◎」になることがある。いずれの事業にしても、継続した実施が必要であるため、令和6年度までは、333事業を進捗管理していく。

委員：例えば、**資料3-1**事業番号116の津波ハザードマップを公表だが対象市町村全て公表してるため、事業終了している。この場合でも、「◎」が「○」になるケースがあるということか。

→(事務局) 計画等については令和2年度に一旦終了したため「◎」とし、令和3年度に新たに策定し再スタートしていることから、令和3年度は「○」となっているケースがある。

委員：計画期間が残り2年なので、アウトカム評価が「C」のもの具体的な対策や検討中の事業「△」がついているものについては、優先度も考慮して実施してはどうか。

→(事務局) 検討中事業については計画期間残り2年ということも踏まえ優先度を付けて進めていくよう関係部局と調整していく。

### (3) 花折断層帯地震被害想定見直し等について

#### ① 事務局説明

- ・資料5から資料5—2のとおり

#### ② 質疑応答

委員：被害想定の見直しに係る対象の断層は花折断層帯のみか。

→(事務局)お見込みのとおり。

委員：京都市内の被害想定は見直すのか。

→(事務局)令和4年度に京都市が市内の被害想定を見直しているの  
で、京都府としては、京都市以外の被害想定を算出する。

委員：シナリオに関しても、京都市の調査結果を踏まえて、京都府全域の  
シナリオを作成するのか。

→(事務局)：京都府全域で使用できるシナリオを作成する。

委員：京都府全域のシナリオとなると、大まかにしか記載できず、東京  
都のシナリオと大差がないのではないか。

→(事務局)京都大学防災研究所のお力添えもいただきながら府独自の  
ものを作成していきたい。

委員：京都市との共同が重要になってくるが、その辺の状況はどうか。

→(事務局)これまでから京都市と打ち合わせをしており、今後も、連携  
を図っていきたい。

**◆議事については、全て承認された。**